

シルバー

川南

迎春

KAWAMINAMI

第22号

平成31年1月発行

公益社団法人 川南町シルバー人材センター

伊倉浜海岸



公益社団法人
川南町シルバー人材センター
理事長 河野 記一

新年のご挨拶

新年あけましておめでとう
ございます。会員の皆様には、
お健やかに新春をお迎えのこ
ととお喜び申し上げます。

昨年は記録的な猛暑、台風、
豪雨、地震により全国各地で甚
大な被害が発生しました。被災
された多くの方々に心よりお
見舞いを申し上げますととも
に一日も早い復旧、復興を心か
ら願っております。

さて、当センターは昨年設立
二十周年を迎え、また、公益社
団法人として六年が経過し、こ
れからさらに地域社会の貢献
を図るとともに、会員の拡大、

会員の就業機会確保や健康福
祉の増進に努めていかなけれ
ばならないと思えます。働く意
欲と能力のあるすべての高齢
者が年齢に関わりなく活躍し
続ける事ができる「生涯現役社
会」を実現することが益々重要
であり、その知識・経験・技術等
を活かし、働き、学び、ボランテ
ィア活動など多様な形で社会
参加することが求められてい
るところであります。

今後、さらに会員の皆様のご
協力を得ながら、役職員一丸
となって頑張りたいと思っ
ております。

ご支援をいただいております
川南町当局、町議会など関係
者の皆様に、感謝申し上げます
とともに、今年も会員の皆様のご
多幸と無事故をお祈りしつ
つ新年のごあいさつといたし
ます。

謹賀新年

輝かし年の初めにあたりご健康と
ご多幸をお祈り申し上げます。

理事会

理事長	河野 記一
副理事長	恵 良 正 利
理事	三 角 博 志
理事	岩 切 柳 一
理事	平 木 睦 子
理事	森 木 忠 雄
理事	西 原 良 樹
理事	黒 木 眞 智 子
監事	加 藤 由 紀 夫
監事	岩 切 拓 也

事務局

常務理事兼 事務局長	渡 部 時 義
事務局長兼 経理庶務係長	中 村 紀 子
業務担当	清 原 順 子
業務担当	児 玉 勝 則
業務担当	矢 野 尊 人





川南町長
日高 昭彦

新年のご挨拶

新年あけましておめでとう
ございます。

皆様方におかれましては、新
春を晴々しい気持ちでお迎え
のこととお喜び申し上げます。

また、日頃からシルバー人材
センター事業の充実・発展に御
尽力いただいていることに心
より感謝を申し上げます。

さて、少子高齢化が急速に進
み、人口減少社会を迎える中、
労働者の不足もまた、深刻な問
題となっています。国は、働き
方改革における高齢者の就労
促進として、六十五歳までの定
年引上げ・六十五歳以降の継続
雇用延長等に取り組もうとし

ています。

高齢者が持つ経験と能力を
活かしつつ、働くことを通じて
社会に貢献するシルバー人材
センターの担う役割は、さらに
重要視されるものと思われま
す。

今後とも活力ある高齢社会
を支える地域の中核的な組織
として、一層の御協力を賜りま
すようお願い申し上げます。

結びに公益社団法人川南町
シルバー人材センターのます
ますの御発展と皆様方の御健
勝と御多幸をお祈り申し上げ、
新年のあいさつとさせていただきます。



川南町議会議長
川上 昇

新年のご挨拶

新年明けましておめでとう
ございます。

会員の皆様におかれまして
は平成三十一年の新春をお健
やかに迎えのことと存じま
す。

また、日頃から会員の皆様に
は地域の福祉増進に御尽力頂
いておりますことに敬意を表
し心から感謝申し上げます。

さて、我が国の平均寿命は男
女とも世界一となり、迫った高
齢化社会への対応は何にも増
して緊急かつ重要な課題とな
っております。皆様のシルバー
人材センターが地域に欠かせ
ない高齢者の組織として、また

社会参加や生きがい提供の場、
更には雇用対策の拠点として
重要な一翼を担われることを
期待致すところでございます。

私ども町議会としましても、
皆様が笑顔でいきいきと暮ら
せるまちづくりに努めて参る
所存であることを改めて申し
上げます。

結びになりますが貴センタ
ーの益々の御発展と、皆様にと
りまして本年が御幸多き一年
となりますことをお祈り申し
上げ、新年の御挨拶と致します。

剪定及び草刈り・草取りを頼まれる発注者の皆様へ

剪定の木屑及び刈り草・取り草について、以前は、シルバー人材センターが自らの排出したゴミとして処理をおこなっておりましたが、平成30年11月より、その処理が困難となりました。したがって、剪定の木屑及び刈草・取草については、発注者様とご相談の上、処理を検討いたしたいと存じますので、ご理解ご協力をお願い致します。詳しくは、川南町シルバー人材センター事務局までお問合せ下さい。

連絡先:27-1945 川南町シルバー人材センター 事務局

年度内3回のボランティア活動

川南町シルバー人材センターでは、年度内に3回のボランティア活動を実施しております。6月(サンA川南文化ホール)・9月(川南町役場内周辺)・11月(川南中央公園)に草刈りや剪定を行っております！シルバー会員総出で地域貢献や美化運動に頑張っています。



軽トラ市PR活動



平成30年1月28日の軽トラ市にて、理事会、互助会の役員でシルバー人材センターのPR活動をおこないました。シルバー会員の募集と併せて、豚汁400杯の無料配布をおこない、役員さんは大忙しでしたが、大盛況でした。





生き生きSC物産展



平成30年11月10日に宮崎市若草通りアーケード内にて、生き生きSC物産展が開催され、川南町産の野菜やお米、落花生などを店売してきました。中でも渡部事務局長が率先して「たんか売り」をおこない、多くのお客様を呼び集めていました。また、来年も開催する予定ですので、ドライブのついでに行ってみてはいかがでしょうか？県内各センターの店頭にて各市町村の地場産品も販売していますよ！



川南町長・町議会議長への要望書提出



平成30年8月8日に河野記一理事長をはじめとする役職員で川南町役場へ要望書を提出してきました。日高昭彦町長、川上昇町議会議長へのご挨拶を行い、懇談の場ではお忙しいにも関わらず、役員さんの話を熱心に聞き入っていました。



えびの市シルバー人材センター来局



平成30年11月30日にえびの市シルバー人材センター役職員の方々が来局され、本センターで視察研修をおこないました。理事、監事、班長、事務局職員の総勢24名で来局され、本センターの概要や派遣事業・請負(委任も含む)事業・独自事業等の事業実績・年齢別構成等を質問されていました。また、本センターからも、えびの市シルバー人材センターの現状や入会者対策、会員独自で結成している趣味クラブ等のお話をお伺いし、有意義な研修をおこないました。



シルバーの日 企業訪問・会員募集活動



平成30年10月19日(シルバーの日)に理事会役員で町内の各企業を訪問し、高齢者の働ける場所の提供をお願いして来ました。また、年々シルバー会員の減少が続いており、ジャオの駐車場において、シルバーのPRを兼ねて、新規会員の募集のチラシ配りをおこないました。





安全標語表彰 (本センター独自選考)



宮崎県シルバー人材センター連合会が主催する安全標語ですが、残念ながら今回の入賞はありませんでした。そこで、本センター独自で選考会を行った結果、最優秀賞は、西原良樹さん、優秀賞は、柳田光之助さんの作品が選ばれ、表彰を受けました。

【入賞作品】

最優秀賞	事故なくす 目配り気配り 思いやり	西原 良樹
優秀賞	後悔を しない為にも 再確認	柳田光之助
入賞	安全作業は 自己の健康管理から	永友 定利
	余裕をもち仕事はじめに 安全確認	石井 純
	安全は声掛け呼びかけ 一人1人の心がけ	長崎 京子

シルバー会員募集

川南町シルバー人材センターでは、新規シルバー会員を常時募集しております。健康増進のため働きたい、お孫さんへのお小遣いを稼ぎたい、退職してすることが無い方は、1度、川南町シルバー人材センターまで、足を運んでみてはいかがでしょうか！

入会条件

- ①原則として川南町在住の60歳以上の方で、元気で働く意欲のある方。
- ②センターの理念「自主(自分のものと考える)・自立(自分たちの力で育てる)・共働(一緒になって働く)・共助(お互いを助け合う)の4つの基本理念に賛同できる方。
- ③家族の承諾を貰える方(家族の承諾書が必要です)
- ④入会後に、年会費・互助会費を納入できる方
- ⑤理事長の承認を受けられる方。



日帰り親睦旅行を行いました！

平成30年11月25日に互助会の親睦旅行がおこなわれ、宮崎交通のツアー『秋の風物詩「あゆ料理」と高千穂散策ゆっくりツアー』を堪能してきました。お昼に「川水流鮎やな場」でおいしい鮎料理に食指が動かされ、県内屈指のパワースポット「皇祖神を祀る神聖な高千穂神社」と「紅葉の名所高千穂峡」の神秘的な美しさで心が癒され、帰りに北方町の「道の駅 よちみろや」でお土産を買って帰ってきました。



シルバー人材センター忘年会

平成30年12月15日に川南町シルバー人材センターの忘年会を行いました。会員みなさん忘年会という事もあり、大いに賑わっていました。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。行政、発注者、会員の皆様におかれましては、平成最後の年をお迎えのことと存じます。この節目にあたり、どんな元号に制定されるのか、また、国の政策に対する不安や期待が交錯しております。雇用についても、働き方改革の中で、定年延長が叫ばれており、シルバー会員確保にも大変な時代となりました。本センターでは、会員不足が深刻化しております。一人でも多くの方に是非、入会して頂き、我々とともに、楽しく明るく、働いて頂きたいと思う次第です。今年も各関係者及び会員皆様に御多幸無事故をお祈りしつつご挨拶とさせていただきます。

【安全・広報啓発委員会一同】